

第3学年 国語科学習指導案

令和元年7月2日（火）第5校時

授業者 中村 友持

1. 単元名

まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう

2. 教材名 「言葉で遊ぼう」

「こまを楽しむ」

3. 指導の立場

本単元の教材「言葉で遊ぼう」は、言葉遊びにはいろいろなものがあり、それぞれに楽しさがあることを述べた説明文である。教材「こまを楽しむ」は、様々な種類のこまにはそれぞれ工夫があり、その工夫によって楽しみ方が様々であることを述べた説明文である。

両教材とも読者に分かりやすく伝えるための工夫がある。「初め」「中」「終わり」に分かれており、「中」の部分の各段落のはじめに、こまの種類と楽しみ方が示され、それを詳しくする説明というように、構成にパターンがある。よって、筆者の説明のしかたの工夫を読み取るのに適した教材である。

また「言葉遊び」も「こま」も子どもたちにはなじみのある遊びであろう。文章中には、知っていることと、初めて知ることがあるはずである。知っていることについては、自らの経験とつないでそのおもしろさを認識し、したことがないことについては、文章に書かれていることや写真などからそのおもしろさを想像して読んでいく。

児童は、2年生までに、説明的な文章の学習においては、説明的な文章や「書くこと」などで繰り返し出会っている。「どうぶつ園のじゅうい」では、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、時間や事柄の順序を表す言葉を押さえることを経験してきている。しかし感想を書く時にはまだ、「はじめ」「中」「終わり」を意識している子は少ない。「まとまり」と「段落」を意識して文章を読んでいくのは、本単元が初めてである。本単元では初出となる段落の意味や働きを理解し、「初め」「中」「終わり」や段落の内容を捉える力が求められる。

さて、本単元では「自分が気に入ったこまについて感想を話す。」という言語活動を設定している。「文章

をよむ」とは、文学的な文章であれ、「何が」「どのように」書かれているかを読むことである。これらを捉えて読めていけば、本文中によりどころをもつ感想を持つことができる。このように、根拠のある感想をもつことは、段落に基づいて、文章全体構造を捉えて読むことへの意識につながる。根拠のある感想を持つために、文章構造に注目して読む力を身に付けさせたい。そのため、学習指導要領3・4年（読むこと）の指導事項の中から「ア：段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。」を重点として考え、指導にあたりたい。

4. 研究内容の視点から

○研究内容1に関わって

全9時間での単元指導計画になった。第一次では、学習計画を立て、今後の見通しをもたせると共に「言葉で遊ぼう」を読んで、段落ごとのまとまりをとらえる練習をしていく。それを生かして第二次では、第三次に行う言語活動「自分が遊んでみたいと思ったこまについて、理由をつけて発表しよう」に向け、自分の言葉で表現ができるよう、必然性をもたせ読み深めていく。特に「中」の部分の書き方をより詳しく学習し、わかりやすく伝えている筆者の工夫に迫っていく。

○研究内容2に関わって

(1) ②教科書の言葉（重要な指示語）をもとに考える

指示語の内容を考えることで「中」と「おわり」につながりがあることに気づき、筆者の主張を捉えられるようにする。

(2) ②交流の仕方のあり方

設問の難易度によって、ペア交流、班交流、全体交流と交流の形態を変え、読み取りの助けとする。

(3) ②に関わって

まとめでは、自分で考えて書く力をつけるため、全体でキーワードを確認し、それをもとに自分たちで書いていけるようにする。

5. 単元指導計画

●単元の指導目標

◎「段落」について知り、「初め」「中」「終わり」の文章構成や、それぞれの段落の内容を捉えることができる。【読（1）ア】

○大事な言葉や文に注意しながら読むことができる。【知（1）ア、読（1）ウ】

○文章を読んで考えたことを適切な言葉で発表し合い、一人一人の考え方の違いに気づくことができる。【知（1）ア、読（1）カ】

単元を貫く課題：自分が遊んでみたいと思ったこまについて、理由をつけて発表しよう。

相手：同じ班の仲間

目的：自分がどうしてそのこまで遊んでみたいと思ったのかをくわしく伝えるため

時	ねらい	学習活動	筆者の説明の工夫	評価規準(評価方法)
第一次 1	自分の経験や、文章の題名から予想される内容について考えながら、二つの文章について興味をもち、学習計画を立てることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 単元名やリード文を読んでイメージしたことを話す。 2. 昔遊びをした経験について自由に話す。 3. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元を貫く課題を知り、学習計画を立てよう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 4. 単元を貫く課題を知る。 5. 課題を達成するための学習計画を立てる。 6. 「言葉で遊ぼう」全文の範読を聞く。 7. 新出語句を確認する。 8. 今日学習したことの振り返りをする。 		【関心・意欲・態度】 ・知っている遊びや文章の内容について積極的に発言し、内容に興味をもっている。 (発言)
2	「段落」という言葉を知り、「まとめ」に気をつけて内容を読むことの大切さを理解して、「問い」を捉えることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">まとめに気をつけて、「言葉で遊ぼう」を読もう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 「言葉で遊ぼう」全文を音読する。 3. 「段落」について知る。(P50 「たいせつ」参考) 4. 段落番号をふる。 5. 「問い」を探し、交流する。 6. 「初め」「中」「終わり」に分け、文章構成を確認する。 ・「初め」には問い、「中」には問いに対する答え、「終わり」には全体のまとめが書かれている。 7. キーワード(段落、まとめ)をもとに、まとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③段落の中心となる言葉・文 ・⑥「はじめ」「中」「終わり」 	【読むこと】 ・「段落」などの「まとめ」の重要性を理解し、内容を読み取っている。 (発言・ワークシート)
3	「問い」の「答え」を探すことを通して内容を捉え、感想をもって交流することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「答え」を見つけながら、ないようを読んで、かんそうを話そう。</div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 「中」を音読する。 3. 二段落の「答え」に線を引く。 4. 二段落の「答え」について全体で確認する。 5. 三・四段落についても同様に「答え」に線を引き、確認する。 6. 「中」に何が書かれているか、さらに読み深める。 ・「中」はそれぞれの段が、遊び・例・楽しみ方の順で書かれている。 7. 「終わり」には、何が書いてあるのか考える。 8. 「終わり」には、まとめが書いてあることを確認する。 9. 一番遊んでみたいものについて、理由をふまえて書き、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・③段落の中心となる言葉・文 ・⑥「はじめ」「中」「終わり」 	【読むこと】 ・「問い」と「答え」となる「言葉遊びの名前」「言葉遊びの楽しさ」を捉えている。(ワークシート)

4	<p>「問い」と「答え」に着目して、「はじめ」「中」「終わり」のまとまりを捉えることができる。</p>	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとまりに気をつけて読み、「はじめ」、「中」、「終わり」にどんなことが書いてあるか、見つけよう。</p> <p>2. 段落番号をふる。</p> <p>3. 「こまを楽しむ」全文の範読を聞く。</p> <p>4. 「問い」を探し、確認する。</p> <p>5. 「初め」「中」「終わり」に分け、文章構成を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「初め」には問い、「中」には問いに対する答え、「終わり」には全体のまとめが書かれている。 <p>6. 「言葉で遊ぼう」の文章構成と比べてみる。</p> <p>7. キーワード(問い、答え、まとめ)をもとに、まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③段落の中心となる言葉・文 ・⑥「はじめ」「中」「終わり」 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「段落」や「初め」、「中」、「終わり」、「問い」と「答え」に基づいて、文章の内容と構成を理解している。 <p>(発言・ワークシート)</p>
第二次	<p>2～7段落を読みとることを通して、「中」のそれぞれの段落が問いのこたえ、特徴の順でかかれていますという筆者の工夫に気づくことができる。</p>	<p>1. 本時の課題を確認する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">各段落を細かく読み取り、「中」の書き方についてひっ者の工夫を見つけよう。</p> <p>2. 「中」を音読する。</p> <p>3. 2段落に書かれていることについて線を引いて確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いの答え、特徴の順で書かれている。 <p>4. 3～7段落に書かれていることを一人読みで見つける。</p> <p>5. 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2～7段落すべてが、同じ順で述べられている。 <p>6. キーワード(段落・順)をもとに、まとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③段落の中心となる言葉・文 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中」のそれぞれの段落が問いの答え、特徴の順でかかれていますという筆者の工夫に気づくことができる。 <p>(発言・ワークシート)</p>
7本時	<p>大切な言葉に注意し「終わり」の段落を読むことを通して、「中」とのつながりや、説明する順番を考えている筆者の工夫を捉えながら、筆者の主張をまとめることができる。</p>	<p>1. 前時までの内容を振り返る。</p> <p>2. 本時の課題を確認する</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">筆者が伝えたかったことをまとめよう。</p> <p>3. 8段落を音読する。</p> <p>4. 8段落の中の段落のつながりを示す大切な指示語が何を指しているかを考える。</p> <p>5. 8段落の中で、一番大切な文は、どれか考える。</p> <p>6. キーワード(バランスをとりながら回る 回る様子 回し方 楽しみ方 こま)をもとに、本時のまとめをする。</p> <p>7. 次時の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①題名 ・③段落の中心となる言葉・文 ・⑥「はじめ」「中」「終わり」 ・⑦段落どうしの関係 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な言葉や文を見落とさず、最後の段落に書かれている筆者が伝えたかったことをまとめることができる。 <p>(発言・ワークシート)</p>
第三次	<p>本文の叙述を捉えて、自分がいちばん遊んでみたいこまと、その理由をまとめることができる。</p>	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">六つのこまから、一番遊んでみたいものをえらんで、感想をまとめよう。</p> <p>2. 一番遊んでみたいこまを選ぶ。</p> <p>3. 遊んでみたい理由を考え、ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのこまを選んだか、どんな特徴(楽しみ方)があるか、選んだ理由の順で書く。 <p>4. グループ以外の子と読み合い、アドバイスをし合う。</p> <p>5. ポイントを押さえて書けたか自己評価をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・③段落の中心となる言葉・文 ・⑥「はじめ」「中」「終わり」 	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の叙述をふまえて、自分が選んだこまと、その理由をまとめている。 <p>(ノート)</p>
9	<p>自分が一番遊んでみたいこまについて、友だちと交流して、意見の違いに気づくことができる。</p>	<p>1. 本時の課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一番遊んでみたいこまについて、感想をつたえ合おう。</p> <p>2. 交流するときの注意点をまとめる。</p> <p>3. グループになり、感想を交流する。</p> <p>4. チェック表をもとに、友達の意見を聞く。</p> <p>5. 同じこまを選んだグループで交流する。</p> <p>6. 交流して気づいたことをノートに書く。</p> <p>7. 単元全体を振り返る。</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の感想と自分の違いに気づいている。(ワークシート) <p>【伝国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉を用いて伝えている。

6. 本時の展開 (7/9)

(1) 本時のねらい

大切な言葉に注意し「終わり」の8段落を読むことを通して、「中」とのつながりや、説明する順番を考えている筆者の工夫を捉えながら、筆者の主張をまとめることができる。

(2) 本時の展開

	ねらい	学習活動	教師の指導・援助
つかむ	前時の学習内容から、本時の課題をつかむことができる。	1. 前時までの内容(2~7段落)をふりかえる。 ・「はじめ」には、2つの問いが書かれていた。 ・「中」の全ての段落には、問いの答え①・問いの答え②・説明が書かれていた。 2. 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">筆者が伝えたかったことをまとめよう。</div>	○掲示物で確認しながら、前時までの学習を振り返る。
さぐる	「終わり」の中でも、最も筆者が伝えたかった一文を読み取ることができる。	3. 本時学習する8段落を音読する。 4. 8段落冒頭の「このように」の「この」が何を指しているか考えペア交流する。 ・2~7段落のこと ・説明してきた全てのこま 5. 「このつくり」の「この」が何を指しているかを考えペア交流する。 = じくを中心にバランスをとりながら回るとい うつくり	○立って読み、終わったら座る。全員座るまで、座っている児童も読む。 ○「説明文の読みのかぎ」①③⑥⑦に注目して考えることを伝える。 ○「この」という指示語は、それよりも前に書いてあり、あてはめて意味が通じればよいことを確認する。
深める	筆者の書き方の工夫に気づくことができる。	6. 深めの発問を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">「回る様子」や「回し方」は、どの段落に書かれていましたか。</div> ○一人読み ・回る様子②③④ ・回し方⑤⑥⑦ ○全体交流 ・それぞれがグループとしてまとまって順番に書かれていた。 7. 8段落の中で、一番大切な文は、どれか考え理由をつけて話す。 ○班交流の後全体交流 ・前の2文が指示語によって最後の主張につながるから。 ・題名の「こまを楽しむ」につながる「楽しみ方」というキーワードがあるから。	○読者に分かり易く伝えるために、段落内の順についてだけでなく、段落自体も順番を考えて筆者は文章を書いていたことに気づかせる。 ○最後の一文とそれまでの段落や文とのつながりがわかり易いように、板書に示す。
まとめる	本時の大切な言葉を捉えて、穴埋めをし、筆者が伝えたかったことをまとめることができる。	8. キーワードをもとに、筆者が伝えたかったことをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> 人々は、じくを中心に バランスをとりながら回 る というつくりにくふうをくわえ、 回る様子 や 回し方 でさまざまな 楽しみ方 のできる こま をたくさん生み出してきた。 </div> 9. 次が一番遊んでみたいこまを選んで、理由をふまえながら感想を書くことを聞き、次時の見通しをもつ。	○板書をヒントに、穴埋め形式で全体のまとめを書かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 評価規準・評価方法 【読むこと】 ・大事な言葉や文を見落とさず、最後の段落に書かれている筆者が伝えたかったことをまとめることができる。 (発言・ワークシート) </div>